



2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年8月10日

上場会社名 萩原電気ホールディングス株式会社 上場取引所 東 名
 コード番号 7467 URL <https://www.hagiwara.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木村 守孝
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 平川 佳弘 TEL 052-931-3511
 四半期報告書提出予定日 2022年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	39,704	16.8	1,210	47.0	1,469	85.1	985	86.6
2022年3月期第1四半期	33,994	50.5	823	105.5	794	108.2	528	138.2

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 1,209百万円 (94.3%) 2022年3月期第1四半期 622百万円 (88.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	111.32	—
2022年3月期第1四半期	59.72	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	82,362	40,012	46.0
2022年3月期	82,482	39,369	45.2

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 37,914百万円 2022年3月期 37,245百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	40.00	—	60.00	100.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	45.00	—	45.00	90.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	187,000	18.0	4,300	△1.3	4,250	△2.0	2,600	△9.6	293.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期1Q	9,018,000株	2022年3月期	9,018,000株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	167,113株	2022年3月期	167,113株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期1Q	8,850,887株	2022年3月期1Q	8,843,614株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に係るワクチン接種の普及や行動制限の緩和などにより経済活動は正常化に向かいつつも、新たな変異株の出現や、ウクライナ問題の長期化、中国のロックダウンの影響なども加わり、原材料価格の高騰やサプライチェーンの混乱が続くなど、依然として先行き不透明な状況が続きました。

当社グループの主要ユーザーである自動車関連企業では、半導体不足や中国のロックダウン等による生産調整の局面がみられましたが、電動化領域を中心に半導体・電子部品の需要は堅調に推移いたしました。

このような環境のもと、当社グループは、新たな価値を創造し提供できる企業グループへの変革を加速させ、お客様やパートナー様から選ばれる存在を目指し、中期経営計画の施策を着実に実行してまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は397億4百万円（前年同四半期比16.8%増）となり、営業利益は12億10百万円（前年同四半期比47.0%増）、経常利益は14億69百万円（前年同四半期比85.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は9億85百万円（前年同四半期比86.6%増）の増収増益となりました。

セグメントの業績は、次のとおりです。

(デバイス事業)

デバイス事業では、電子制御が進む自動車向けシステムLSIなどの半導体や電子部品の販売及び技術支援、組込システムのP o C（概念実証）開発支援や組込ソフトウェアを中心とした受託開発事業を行っております。

当第1四半期連結累計期間におきましては、自動車の生産調整等の影響を受けたものの、採用品の新規立ち上げや車両展開による受注増加などに加え、商流移管や円安の寄与があった結果、デバイス事業の売上高は、343億52百万円（前年同四半期比17.3%増）、営業利益は8億70百万円（前年同四半期比37.1%増）となりました。

(ソリューション事業)

ソリューション事業では、IT機器、組込機器及び計測機器の販売や、ITプラットフォーム基盤及びITシステムの構築に加え、FAシステムや特殊計測システムの設計・製造・販売及び産業用コンピュータの開発・製造・販売を行っております。

当第1四半期連結累計期間におきましては、搬送・半導体設備関連の顧客の生産が好調に推移したことにより組込分野での売上増加が牽引し、ソリューション事業の売上高は、53億51百万円（前年同四半期比13.8%増）、営業利益は3億39百万円（前年同四半期比80.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

資産合計は、前連結会計年度末に比べて1億20百万円減少し823億62百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べて19百万円増加し767億49百万円となりました。これは主に、電子記録債権が48億48百万円、受取手形、売掛金及び契約資産が30億69百万円減少した一方で商品及び製品が75億2百万円増加したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて1億39百万円減少し56億13百万円となりました。

(負債)

負債合計は、前連結会計年度末に比べて7億63百万円減少し423億50百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて1億99百万円減少し363億31百万円となりました。これは主に、1年内返済予定の長期借入金が15億円増加した一方で支払手形及び買掛金が19億48百万円減少したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて5億63百万円減少し60億18百万円となりました。これは主に、長期借入金6億円減少したことによるものであります。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて6億43百万円増加し400億12百万円となりました。

この結果、自己資本比率は46.0%（前連結会計年度末は45.2%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の連結業績予想につきましては、2022年5月13日の決算短信で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,506	7,584
受取手形、売掛金及び契約資産	26,571	23,501
電子記録債権	9,471	4,623
商品及び製品	27,641	35,144
仕掛品	603	682
原材料及び貯蔵品	861	1,072
その他	3,090	4,157
貸倒引当金	△17	△18
流動資産合計	76,729	76,749
固定資産		
有形固定資産	2,713	2,693
無形固定資産	243	221
投資その他の資産		
その他	2,840	2,741
貸倒引当金	△44	△42
投資その他の資産合計	2,796	2,698
固定資産合計	5,753	5,613
資産合計	82,482	82,362
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,376	15,428
電子記録債務	3,126	3,312
短期借入金	10,129	10,920
1年内返済予定の長期借入金	1,025	2,525
未払法人税等	992	321
その他	3,882	3,824
流動負債合計	36,531	36,331
固定負債		
長期借入金	6,250	5,650
その他	332	368
固定負債合計	6,582	6,018
負債合計	43,113	42,350

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,361	4,361
資本剰余金	4,872	4,872
利益剰余金	27,679	28,133
自己株式	△305	△305
株主資本合計	36,607	37,061
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	325	316
繰延ヘッジ損益	△3	—
為替換算調整勘定	413	634
退職給付に係る調整累計額	△97	△99
その他の包括利益累計額合計	638	852
非支配株主持分	2,123	2,098
純資産合計	39,369	40,012
負債純資産合計	82,482	82,362

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	33,994	39,704
売上原価	30,838	35,852
売上総利益	3,156	3,851
販売費及び一般管理費	2,332	2,640
営業利益	823	1,210
営業外収益		
受取利息	4	6
受取配当金	7	9
為替差益	—	202
その他	11	65
営業外収益合計	22	284
営業外費用		
支払利息	12	15
為替差損	32	—
その他	6	9
営業外費用合計	52	25
経常利益	794	1,469
特別利益		
投資有価証券売却益	77	—
特別利益合計	77	—
特別損失		
固定資産処分損	0	0
投資有価証券評価損	10	—
特別損失合計	10	0
税金等調整前四半期純利益	861	1,469
法人税等	319	474
四半期純利益	541	995
非支配株主に帰属する四半期純利益	13	9
親会社株主に帰属する四半期純利益	528	985

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	541	995
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△70	△8
繰延ヘッジ損益	—	3
為替換算調整勘定	147	220
退職給付に係る調整額	3	△1
その他の包括利益合計	80	214
四半期包括利益	622	1,209
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	608	1,199
非支配株主に係る四半期包括利益	13	9

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これによる、四半期連結財務諸表への影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	デバイス事業	ソリューション 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	29,292	4,702	33,994	—	33,994
セグメント間の内部売上 高又は振替高	28	18	46	△46	—
計	29,320	4,720	34,041	△46	33,994
セグメント利益	634	188	823	—	823

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	デバイス事業	ソリューション 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	34,352	5,351	39,704	—	39,704
セグメント間の内部売上 高又は振替高	34	27	61	△61	—
計	34,386	5,378	39,765	△61	39,704
セグメント利益	870	339	1,210	—	1,210

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。